

UNHCRへの拠出金で建設された小学校の開所式の開催

10月31日、国連高等難民弁務官事務所（UNHCR）は、イスファハン州イスファハン市のアフガン難民が多く居住する地域（第4地区）に建設した Sagha Dolati 小学校の開所式を開催し、当館から藤井康司参事官が出席しました。本学校は、アフガニスタン支援の一環として日本政府からUNHCR当地事務所への平成22年度補正予算拠出金の一部とEU、ブラジルからの拠出金の一部が利用されて建設されました。小学校は全部で10クラス（延べ床面積は1,980m²）を持ち、385名のアフガン難民児童を含む560名の生徒が利用することになります。

なお、日本からの拠出金は、このような学校建設の他に、帰還支援分野、医療衛生分野、生計向上支援分野に利用されており、イラン国内に在住する約80万人といわれるアフガン難民に大きな貢献を行っています。



写真1：建設された小学校



写真2：授業を受ける生徒



写真3：日本の支援を示すプレート



写真4：開所式でのテープカット